



# あかまつ

七飯町立七重小学校  
学校だより No.7  
R3年11月30日

一人一人の良さを発揮させて

七飯町立七重小学校長 本多宏至

「あ～緊張した！」

舞台から降りてきた子供が、自分の席に戻る際、私に投げかけた言葉です。学習発表会で披露した演目が終わり、大役を終えたという実感から発せられた言葉と感じました。わずかな練習期間の中で、たくさんの皆さんに成果を見せる場である学習発表会（1年～5年）が終わりました。器楽合奏、ダンスなどの表現や劇と多くの演目に「習熟」することはなかなか容易ではありません。やり切った子供たちに心より拍手を送りたいと思います。

さて、「習熟」という言葉に「熟」という漢字が使われていますが、「熟」という漢字は通常以下のような意味で使われます。

一つ目は、果物などが実り、熟れて食べ頃になるという意味です。今の季節だと熟した柿などを思い浮かべます。また、近頃は肉などの食品でも熟成という名前が付くと、時間をかけて丁寧に作られ、味が凝縮されている感じが伝わります。（食欲がわいてきますね。）

二つ目は、「機が熟した」と言われるように、物事が整い、適切な状態なときに使います。

三つ目は、新しい言葉や言い方が世間一般に通用するようになったときに使います。

そして、四つ目は、「物事に慣れて上手になる。熟練する。習熟する。」というときに使います。

演目の練習の後、自分たちの取り組んでいる様子をVTRで見て、どうしたらもっと上手にできるのかを考え、子供たちは自分の課題をしっかりとって次の練習に臨んでいました。「自分に厳しくならなければ上達しないんだぞ」と感じつつ、人に厳しく言われるより、自分で気付き自分で何とかしようと頑張る方が上達が早いということも先生方の指導から感じました。さらに、個人の習い事とは違い、学習発表会はみんなの力を合わせて一つのものをつくり上げる活動なので、先生と子供、子供と子供の信頼関係が土台となって演目が熟していくことも改めて実感しました。当日お越しいただき、温かい励ましをいただきましたご家族の皆様にも心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

話は変わりますが、「やり切った」ということでは、6年生は11月9～10日に修学旅行へ行ってきました。出発前日の結団式において、「テーマがあり、計画を立てたので、あとは実行するだけです。」と話し、実行するにあたっては、「笑顔・習慣・学び合い」を大切にしたい行動をとってほしいことを伝えました。子供たちが楽しみしていた自主研修場面は、スタートは小雨でしたが、後半は土砂降りになってしまいました。そんな土砂降りにあたりながらも、自分たちでスケジュール変更を判断しながら集合場所に戻りました。土砂降りの中で笑顔は難しいですが、学び合いは私たち引率者も含め、条件に応じた臨機応変さや即断即決など十分生かされた場面であったと感じています。一週間前は、北海道新幹線が止まるほどの天気があり、今回もありえるかなと心配しましたが、無事七飯町に戻ることができて安堵しました。お迎えも雨の中となってしまいました。大変ありがとうございました。



子供たち一人一人の「得意」や「持ち味」がよく見える七重小学校の学校文化は、これからもつなげたい伝統です。明日から12月です。一人一人が自分の持っている良さを十分に発揮し「やり切った」と感じることができるよう2学期を締めくくりたいです。